

## 令和3年度 東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞 受賞者一覧

賞別	部門	受賞企業(団体)情報	人材育成の概要
大賞	ものづくり部門	社名: 株式会社内野製作所 業種: 精密歯車の試作・製造業 所在地: 八王子市 H P: <a href="https://www.uchino-ss.co.jp/">https://www.uchino-ss.co.jp/</a>	○技能の高い社員を技術主幹として管理職登用するなど、若手人材の積極的活用を実施 ○最先端の技能取得のため、社員の海外派遣及び海外からのトレーナー招聘を多数実施 ○スキルマップによる技能認定により、社員の技能レベルを把握。技能レベルに応じ、教育プログラムを個人別に策定することで、きめ細やかな人材育成を実施 ○地域が主催する企業体験ツアーの受け入れや研修の講師を務める等、地域全体の人材育成に貢献
優秀賞	ものづくり部門	社名: 多摩冶金株式会社 業種: 金属熱処理加工業 所在地: 武蔵村山市 H P: <a href="http://www.tamayakin.co.jp/">http://www.tamayakin.co.jp/</a>	○会社の行動指針が記載されたカードを全社員が常時携帯し、全社員が共通の意識をもって業務や技能向上に取り組む土壌を形成 ○世話役制度によるきめ細やかな新入社員教育や、地元工業高校のインターンシップ受け入れにより、就職後の高い定着率を誇る ○技能検定の受検手数料を全額負担することにより、社員の技能向上に寄与
優秀賞	ものづくり部門	社名: 新協電子株式会社 業種: 電子機器製造業 所在地: 八王子市 H P: <a href="http://sinkyu.co.jp/">http://sinkyu.co.jp/</a>	○全社員が閲覧・投稿できるナレッジシステムを構築し、社内間のコミュニケーション能力向上や人材育成に活用 ○同業他社の定年退職者で高い技能を持つ技術者を、技術指導者として採用。OJTによる高度な技能の継承を実施 ○全社員の技能のスキルマップ化や、社員毎に年間目標シートを設定し、社長への成果報告を実施することで、きめ細やかな人材育成を実施
奨励賞	ものづくり部門	社名: 武州工業株式会社 業種: 金属製品製造業 所在地: 青梅市 H P: <a href="https://www.busyu.co.jp/">https://www.busyu.co.jp/</a>	○業務に必要な技能に関する動画教材を多数作成し、社員がいつでも閲覧できるように整備 ○社員のモチベーション向上や自己啓発促進のため、独自にAIシステムを開発し、日々の業務の目標・実績の見える化を実施
奨励賞	ものづくり部門	社名: メイホー株式会社 業種: めっき及び表面処理加工業 所在地: 大田区 H P: <a href="http://meiho.com/">http://meiho.com/</a>	○メイホー新聞や社長チャンネル(YouTube)により、社員への発信を多数実施。人材育成の方針や組織目標の周知・理解に積極的に努めている ○技能向上のため、社員を高等職業訓練校に派遣し、技能検定を受検させている。資格取得者には報奨金を支給する等、待遇に反映
奨励賞	ものづくり部門	社名: 有限会社ファッションしらいし 業種: 婦人子供服製造業 所在地: 杉並区 H P: <a href="https://www.ifashion.co.jp/">https://www.ifashion.co.jp/</a>	○社内塾を設置し、一連の仕事ができるレベルまでの基礎技能を取得させるとともに、技能レベルに応じた課題を設定することで、特性に応じた人材育成を実施 ○同業他社の工場見学の受け入れや、若手技能者との交流により業界全体の技能向上に貢献
奨励賞	ものづくり部門	社名: 大内新興化学工業株式会社 業種: 有機化学工業薬品製造業 所在地: 中央区 H P: <a href="https://www.jp-noc.co.jp/">https://www.jp-noc.co.jp/</a>	○OJT実施手順を策定し、社内データベース上に公開するなどして、早期の技能向上を実施 ○インターンシップの受け入れや地元小学生を対象としたイベントを実施することで、地域全体の人材育成の機運を醸成
奨励賞	ものづくり部門	社名: 株式会社高砂 業種: 清掃用品製造業 所在地: 江戸川区 H P: <a href="http://www.shidapalm.co.jp/">http://www.shidapalm.co.jp/</a>	○採用活動の一環としてインターンシップを実施することで、ミスマッチを防止すると共に、個々の適正にあった人材育成を実施 ○日々の業務報告にボイスメールを活用することで、社員個々の詳細な状況を把握し、きめ細やかな人材育成に活用